

あとがき

〈編集顧問〉

太田 保世
諏訪 邦夫
広沢弘七郎
堀江 孝至
村山 正博

〈編集委員〉

相澤 久道
石坂 彰敏
和泉 徹
小川 聡
永井 良三
三嶋 理晃

〈編集協力委員〉

赤石 誠
赤柴 恒人
北風 政史
近藤 哲理
中沢 潔
(五十音順)

ストレスには心地よいオイストレスと、精神や身体を蝕んでいくネガティブストレスとがある。良いストレスと悪いストレスとでも言えよう。心臓突然死や急性冠症候群、たこつぼ心筋症、高血圧などをトリガーするのは後者である。特に、歪みが加わったストレイン型が問題視される。ストレスは生活人生を通じて絶え間なく生まれるが、自己決定が多いとネガティブストレスは発生しにくい。例えば、仕事である。「うまくいかない」、「忙しすぎる」、「予測や予定が外れた」などはネガティブストレスを招きやすい。医師は当にこのストレス下で苦闘している。特に、「はかどらず、時間ばかりが過ぎて行く」などはとてもやるせない。ストレスの渦中で存在が翻弄される。だが、多くの医師は、瞬間的な立ち直りが可能である。それは自己裁量が個々の局面で委ねられているからである。これが危うくなっている。否、見直されている。

今日のEBMでは、ランダム化臨床試験によってエビデンスの質が決まり、医療の標準化が推し進められる。質を表す指標が、勧告分類 クラス I, II, III, エビデンス レベル A, B, Cである。クラス I・レベル A, すなわち手技または治療法が有益であり、有用で有効であることを示すエビデンスが複数のランダム化臨床試験、またはメタアナリシスから得られている事例などは数えるほどしかない。多くはクラス II・レベル Cである。つまり、手技または治療法の有用性/有効性について専門医の一致した意見や症例研究がある事例、程度である。ペニシリンやニトログリセリンの効用レベルでさえこの範疇にとどまる。

新薬開発をめぐるのは、エビデンス レベルに熾烈な競争が繰り広げられる。その結果、大規模ランダム化臨床試験(RCT)が不可避的となり、大製薬企業のみがこの課題を担い、多額の開発費と多数の労力が投入される。だからこそ、アウトカムは過剰なまでにプロパガンダされる。一方、臨床医には、RCTに基づくエビデンスを尊重するが故に、ガイドラインを絶対化し、個々の患者の病状に見合った裁量判断を遠ざける風潮が生まれ始めた。由々しい傾向である。今回の特集「臨床研究・大規模研究の進め方」を参照されて、自らの視点で直面する課題を解決し、エビデンスの質を高める動きが広まることを願ってやまない。それが悪いストレスからの解放に繋がる。

(和泉 徹)

呼吸と循環 (第55巻 第3号)

2007年3月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)

(2007年、年ぎめ予約購読料 31,800 円)
(税込み、配送料弊社負担)

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 菊池・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株) 医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

〔JCLS〕(株)日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。